



<ひとこと> 今月号より、思い切って紙面を変更しました。よろしくお願いします。

第3回 柏圏域自立支援協議会(10月17日 13:30~15:30)



今回の議題は

1. 専門部会の実施報告
2. 千葉県相談支援事業立ち上げ支援事業にかかる事業者推薦について
 - ア) 当該事業における地域自立支援協議会の役割についての説明 (千葉県より)
 - イ) 各補助金申請事業所からの事業概要説明
 - ウ) 推薦にかかる協議
3. その他

1では8月25日に行われた解決が難しい2事例の方向性を話し合った専門部会(協議会からのメンバー+関係団体)の報告が行われました。2のアとして、県から自立支援協議会に期待する役割として、立ち上げの促し、事業計画内容は身近な地域のほうがチェックがしやすい、また実行性の確保にもつながる(実行されているかのチェック機能)との説明がありました。(ア)

そして今回ばかりでなく協議会は今後もさまざまなチェックや評価の機能を期待されるというわけです。

当初自立支援協議会は困難な事例への対応、調整等に関する事項や地域ネットワークの構築に関することなどで出発しましたので、柏圏域の協議会は各団体の責任者というより現場での実践者という形で構成されています。このような内容が追加されていくと、今の構成メンバーでよいのかとか、出席できない場合は代理を出すべきか出さざるべきか、はたまた公開か非公開か、明確には決まっていなくてもいろいろと課題が出てきました。自立支援協議会の役割や部会等の構成を考える契機だと捉え、議論が深まることを期待します。

(補助金の推薦については4団体から応募があり、プレゼンテーションの後、4団体全て推薦することを決定しました。)

リハビリに関して、全体的認知行動(遂行機能、記憶、注意等)の大前提として「目覚めている」ということが大切です。このリハビリ…市販のものでも同じような訓練はできること、大人のぬりえやマス計算等百円ショップで売っているものでも活用されているそうです。

第二部では、「高次脳機能障害の家族会の東葛菜の花」綿貫さんより活動の内容の紹介等があり、高次脳機能障害は、必ずしも全ての人が手帳を取得できるわけではなくサービス利用が難しい場合があります。



十月一三(土)
柏市中央公民館。
基調講演「高次脳機能障害に対するリハビリや支援について」千葉リハビリテーションセンター病院、脳神経外科部長大賀優先生

「高次脳機能障害に対するリハビリや支援について」
注意障害等を中心に (柏市)

第九回 おしゃべり会

十月二一(日)あけぼの山農業公園農業公園まつりを散策しました。



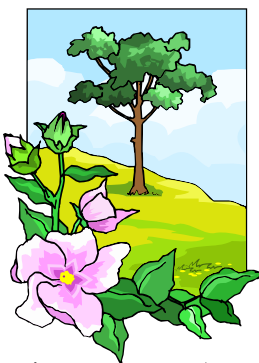
居場所や作業所等がみつかりにくいということがあつても、「高次脳機能障害」の名前は聞いたことがあつても、実際どのような障害かはわからない部分がありましたが、話を聞くことで、自分の知らないという気持ちが一層複雑にさせていたような気がしました。一つ一つのことを部分的に取り出し理解していくことから始めてもいいのではという気持ちになりました。

中核地域生活支援センター あいネット

◆ 新スタッフのご紹介

11月から「あいネット」でお世話になってます「加藤ひさ枝(かとうひさえ)」です。人生の経験だけは人一倍つんではいるんですが…まだまだ未熟者です。

好きな事は山歩き!道端にかわいい野草を見つけると「山に来てよかったあ!」と思います。それから人も大好き!出会いが楽しみです。「あいネット」で「仕事ができよかったあ!」と言えるようあわてずがんばって行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



「赤福」、父が出張で関西に行ったとき、お土産として買ってきてくれるのを楽しみにしていた記憶があります。父から聞いた大叔母の話。
「浅草の叔母さんは、戦後、飴をオブラートで包む内職をしていてな。
オブラートをくっつけるときに、人差し指をペロッと舐めて、つばをつけてクルッと丸めちゃうんだよ。それをまたうまそうに、子どもたちが食べるんだ。」
【見ぬこと清し(見なければ、きたない物事も気にならぬ)。「大辞林」】なんて言葉が浮かびました。(笑)

EYEねっつ



「制度の中で制度をのりこし、越えながらすごい仕事をしている人…制度の外で、制度に振り回されず、『水のように行き渡るサービス』(本の中の表現)をしているすごい人もいます。五十嵐さんは、その後者にあたる稀有の人です。」
 [以上、「手をつなぐ 2007 年 11 月号 NO.621」37 頁より引用]五十嵐正人氏著「三人暮らし」(水曜社)の紹介文です。

※今月の「地域を歩く」でご紹介する「空(くう)さん」は、今年の 7 月 27 日にオープンしました。
 「制度の外で、制度に振り回されず」日々活動をされている小野寺厚子さんです。



小野寺 厚子(おのでら あつこ)さん
 電話 080-1113-2203
 メール s-a.w.w.cml@docomo.ne.jp

※名前の由来：障害を持たれている方とご家族の暮らしをお手伝いしていきたいと考えます。空(くう)という言葉には人と人との縁をつないでいくという意味があります。たくさんの人との縁を大切にしていきたいという思いからつけた名前です。

■ 「始めます」と言ったら、始まっていました。

空(くう)の活動が始まってから、約3ヶ月経ちました。「極カシンプルに付き合っていきたいと思った。仕事であるとかプライベートであるということあまり意識せずに、やっていきたいから。」続けて…
 「活動起点となる家は探しながら活動しています。現在、利用者さんは3歳から54歳までです。」中心は学齢期の方々とのこと。

■ どのような活動をしているの？

学校に迎えに行き、夕方まで公園、ショッピングセンターで過ごしたり、自宅でみて欲しいという場合は自宅で遊んだり様々に希望に本人のペースで関わっています。一緒に遊びに行ったり、お泊りしたりしています。

■ 利用するには？

先ず電話→面談、利用の約束をする。



■ スタッフは？

(小野寺さん)一人でやっています。利用の仕方について、定期的に利用したい人の希望はありますが、一人だと(体が)まわっていかないので、空(くう)にいるときお受けする形で行っています。お泊りの希望の方は、今は家がないので(小野寺さんがパートなどで)お世話になったところ(「ばおばぶ」さん(柏)「ノーサイド屋」さん(松戸))をお借りして過ごすこともあります。

■ これからについて

「個人との付き合いを大切にしていきたい。一緒に遊べるお姉さんで…施設や学校にない関わりができれば…」



【利用料金】

1～8時間	1時間/500円
9～16時間	1時間/400円
17～24時間	1時間/300円

※詳しくは、左記連絡先までお問い合わせ下さい。

淡々と、自然体でお話しをしてくださいました。

小野寺さん、お忙しい中、

取材に協力してくれてありがとうございました。

※PS (小野寺さん)家を探しています。

一軒家、駐車場ありで月10万円くらいとのこと。情報がありましたらよろしくお願ひします。

おしらせ

こちらのコーナーへ掲載希望は、あいネットまでご連絡ください。

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
◆心の健康講演会 「生きる力! 支える力!」 講師: 木村尚美氏(ひだクリニック副院長)&「るえか」メンバー	11月11日(日) 13:30~15:30	けやきプラザ 9Fホール 定員 100名	無料	×申込み不要	我孫子市福祉総合相談室 でんわ:04(7185)1111(内385) ・主催 健康フェア実行委員会
◆NHKハートフォーラム LD等発達障害のある子ども達に必要な教育とは ~就労・自立を目指して~ 「特別支援教育の現状と課題」 講師: 山岡修氏(全国LD親の会会長) 他講演1、シンポジウム	11月17日(土) 10:30~15:30 (開場 10:00)	千葉市民会館 小ホール	無料	○申込みあり はがき、FAX、Eメールで、郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加希望人数を記入の上、右記まで。	〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-4-1 「NHK 厚生文化事業団「11/17 千葉」係 でんわ:03-3476-5955 F A X:03-3476-5956 http://www.npwo.or.jp (内メール) ・主催 同上、NHK 千葉放送局 千葉発達障害児・者親の会「コスモ」
◆星の数ほどシンポジウム 講演「私たちの居場所づくり」 講師: 伊藤英樹氏(小規模デイサービス・宅老所千葉県連絡会代表) 2部パネルディスカッション	11月21日(水) 13:30~16:30	柏中央公民館 集会室1・2	資料 300円	×申込み不要	NPO法人生活クラブボランティア活動情報センター(赤羽) でんわ:090(4814)0621 ・主催 東葛北星数シンポジウム 実行委員会
◆高校生活と卒業後の進路を考える 特別講演会 「当事者」の話を聞いて、考える会 第1部 当事者講演会 第2部 高校生活と卒業後の進路を考える会	11月23日(金) 13:30~16:30	柏市中央公民館 5階講堂	資料 300円	×申込み不要	でんわ:04(7132)0244(仲井方) ・主催 生活と教育を考える会